

地域県土警察常任委員会資料

(令和7年3月19日)

[件 名]

- 県立美術館の開館について
【美術館】・・・ 2ページ
- 淀江産業廃棄物管理型最終処分場監視・指導計画の策定について
【産業廃棄物処理施設審査課】・・・ 4ページ
- 鳥取県スポーツ顕彰の授与について
【スポーツ課】・・・ 6ページ
- みんなで地方創生事業の執行状況について
【東部地域振興事務所・中部総合事務所】・・・ 7ページ

地域社会振興部

3月30日に開館する県立美術館に地域連携課と学芸課を設置し、観光誘客など地域振興との連携や教育委員会と一体となった「アートを通じた学び」などを一層推進していきます。

また、PFI事業者の鳥取県立美術館パートナーズ株式会社と一体となって、開館記念式典等、企画展及びスタッフやボランティアの養成等の準備を進めていますので報告します。

1 開館記念式典、オープニングイベント等

(1) 催しについて

<p>3月28日(金) 開館記念式典(10時～)、関係者内覧会(11時～)、 記念シンポジウムトークセッション①建築編(14時～)</p>	
<p>3月29日(土) 関係者内覧会(10時～) 記念シンポジウムトークセッション②アーティスト編(10時30分～) オープニングイベント(10時～21時) 【パレード オン パレード】白壁土蔵群から鳥取県立美術館までの祝賀パレード(11時～) 12時半からのスタート式典に、チョコレートプラネットのお2人がとりび大使(TT)として出演 【ミュージックセレブレーション】えんがわやテラスをステージに野外音楽祭。日没後は映像上映(13時半～) 第1部: 県内の団体による音楽、伝統芸能、踊りなどのパフォーマンス 第2部: スペシャルゲストをお迎えした記念コンサート等 とりび大使(TT) チョコレートプラネット(16時～16時20分) 鳥取県立美術館グランドオープンアンバサダー 片寄涼太(17時～17時半) ゲストアーティスト MALTA Hit&Run(19時半～20時) スペシャルゲストアーティスト 岡本知高(20時～20時半) 【鳥取アート&クラフトマーケット】 アートとクラフト(工芸品)をテーマにした「市」。約100店が大集合。(10時～、史跡大御堂廃寺跡) 【NHK びじゅチューン! コンサートin鳥取県倉吉市】 アーティスト 井上涼(10時半～、14時半～、エースパック未来中心)</p>	
<p>3月30日(日) グランドオープン(通常開館・9時～17時)</p>	

(2) アクセスのアナウンスについて

3月29日(土)及び30日(日)開館初日は美術館周辺の混雑が予想されるため、臨時駐車場を設けて無料シャトルバスを走らせる他、新設する「県立美術館前」のバス停に停車する路線バスや3月30日から運行が始まる「うつぶきループバス」の利用をホームページやSNS、新聞広告、テレビCM等でアナウンスしています。

2 3月30日開館時の展覧会

(1) 企画展

- 開館記念 アート・オブ・ザ・リアル 時代を超える美術
～若沖からウォーホル、リヒターへ～
- ・会期 令和7年3月30日(日)～6月15日(日)
- ・休館日 月曜日(3/31、5/5は開館)
- ・夜間開館 5/3(土)、6/14(土)は午後9時まで



(ポスター・チラシ画像)

(2) コレクション展

コレクション展では、2階のコレクションギャラリー(常設展示室)で、所蔵作品を中心として、鳥取県ゆかりの作家や国内外の作家による優れた作品を、ジャンル別、テーマ別でご紹介します。

- 辻晋堂の世界01「絛織の美」(3/30～5/18 コレクションギャラリー3)
- 鳥取県の写真と版画01 (3/30～5/25 コレクションギャラリー4)
- 因伯の画家たちー近世絵画編 (3/30～5/25 コレクションギャラリー5)

3 アンディ・ウォーホルの作品《ブリロ・ボックス》の展示

取得にあたって議論が起きた《ブリロ・ボックス》は、美術館開館時から3年間を目途として、企画展又はコレクション展で展示すると共に、来館者アンケートを実施し、随時結果を公表していきます。

4 鳥取県立美術館ボランティアTMOA+（ティモア・プラス）

美術館ボランティアに約300名が登録され、開館に向けて研修を複数回開催しています。

3月1日の交流会では 77 名の方が参加され、国立アートリサーチセンター 主任研究員 稲庭彩和子氏による講演の後に、「わたしにとっての鳥取県立美術館どんな場所？」「どんな場所にしていきたい？」など意見交換を参加者全員で行いました。

対話鑑賞のファシリテーターや建築ツアーガイド、ワークショップの企画・運営、キッズスペースでの読み聞かせなどのボランティア活動を予定しています。

(県民ギャラリーを会場とした TMOA+交流会の様子)



淀江産業廃棄物管理型最終処分場監視・指導計画の策定について

令和7年3月19日
産業廃棄物処理施設審査課

(公財)鳥取県環境管理事業センター(以下「センター」という。)による産業廃棄物管理型最終処分場の設置や運営に対する計画的・継続的な監視・指導を実施し、長期間にわたる処分場の安全性を確保するとともに、より適切な廃棄物処理の推進につなげるため、「淀江産業廃棄物管理型最終処分場監視・指導計画」を策定しましたので、その概要について報告します。

また、本計画の策定に当たり、鳥取県淀江産業廃棄物最終処分場安全監視顧問会議を開催しましたので、併せてその概要を報告します。

1 計画の概要

(1) 監視・指導

施設の設置前から、専門家も加えた監視体制を構築し、廃棄物処理法に係る各種基準の遵守や不具合の発生の有無(や予兆)などを確認するとともに、必要に応じて助言や指導等を行う。

(2) モニタリング

ア 方針

- ・モニタリングは、異常が生じた際に、環境に影響を生じる可能性が高いと考えられる下流水路、地下水等の水質を検査する。
- ・施設の設置前から水質の推移を把握しながら、正常な稼働を継続的に評価・確認する。

イ 地点

下流水路1か所、センターが設置するモニタリング井戸4か所
(※必要に応じて適宜見直し)

ウ 項目

〔水 路〕河川の水質環境基準の項目など

〔地下水〕地下水の水質環境基準の項目など

(※基準等への追加項目があった場合は、追加を検討)

エ 時期

水質の季節変化を含めて把握する。

オ 結果の公表

- ・参照する環境基準等への適合状況等を付して、速やかに県HPで公表する。
- ・水質の推移は、一定期間の結果を集約・整理の上、顧問の意見を付して県HPで公表する。



<時点毎の主な監視等>

工事着工前	<ul style="list-style-type: none"> ・工事計画の内容やマニュアルの策定状況等を把握 ・下流水路の水質の長期的な傾向把握のための基礎的なデータ収集
工事中	<ul style="list-style-type: none"> ・完成後に確認が困難と予想される部分(井戸、地盤対策、地下水・浸出水集排水管、貯留構造物、遮水工、集水ピット、水処理施設等)の事前検査
使用前検査後～埋立開始前	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営マニュアル等の実効性や見直し等の監視・指導 ・下流水路の水質モニタリング
埋立中	<ul style="list-style-type: none"> ・「廃棄物処理施設監視要領」に基づく立入・水質検査 ・のり面用土えん堤築堤時、排水口閉塞時の確認・検査 ・下流水路の水質モニタリング
埋立終了～廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・「廃棄物処理施設監視要領」に基づく立入・水質検査 ・下流水路の水質モニタリング、埋立地内温度等のデータ収集
災害等発生時	<ul style="list-style-type: none"> ・速やかに立入り監視等を実施し、異常発生の有無を確認 ・状況に応じて、水質調査の実施等による施設機能の維持状況を評価

*監視の中では許可通知に記載した事項(施設設置、埋立施工、維持管理等に関する専門家意見)への対応も併せて確認

(3) 異常確認時の対応

- ア 基準の超過や漏洩検知システムの作動など環境影響が生じている状況が疑われる場合
廃棄物の受入停止を指導した上で、顧問意見を聴取し、原因調査、再発防止等の指導を行う。
- イ モニタリングによる水質傾向に変化が認められる場合(直ちに環境基準等の超過がない場合)
顧問意見を聴取し、処分場からの漏水のおそれがある場合は、廃棄物の受入停止・追加調査等の指導を行う。

2 安全監視顧問会議の概要

- (1) 令和7年3月4日(火) 午前10時30分～正午
- (2) 出席顧問(オンライン) 乾顧問、遠藤顧問、宮脇顧問
- (3) 場所 西部総合事務所第2会議室
- (4) 会議の概要

県の監視・指導計画案に対して顧問から意見を聴取し、異論はなかった。

〈主な意見〉

- ・モニタリング項目は、10年、20年後にも、義務的に実施する項目と傾向を把握するために任意で実施する項目がわかるよう、違いを明確にしておいた方がよい。
- ・安全安心のため、法令の義務的な項目より多くの項目をモニタリングしていることを明確にしておくこと、通常より検査されていることが分かりやすくなってよい。
- ・PFASは、現時点では基準にないため、案のとおり計画に含めず、今後の動向を見ながら対応することによりよい。ただし、PFASは、処分場による影響かどうかを事後的に確認できるよう、事業開始前にはバックグラウンドを把握しておく必要がある。

(参考) 鳥取県淀江産業廃棄物最終処分場安全監視顧問

(委嘱期間) 令和7年1月15日～令和9年1月14日

氏名	所属	専門
乾 徹	大阪大学 大学院 工学研究科 教授	地盤工学(地下水環境)、社会基盤(土木・建築・防災)
遠藤 和人	国立環境研究所 福島地域協働研究拠点 廃棄物・資源循環研究室長	最終処分、放射能汚染廃棄物、物質移動
宮脇 健太郎	明星大学 理工学部 総合理工学科教授	廃棄物工学、衛生工学、最終処分場(水処理等)

鳥取県スポーツ顕彰の授与について

令和7年3月19日
ス ポ ー ツ 課

3月19日（水）に鳥取県スポーツ顕彰授与式を開催し、パリオリンピック・パラリンピック、冬季デフリンピック及び各種世界大会において優秀な成績を修めた本県ゆかりの選手に「スポーツ顕彰」を、日本代表として顕著な成績を収めた監督、コーチへ「スポーツ功労章」をそれぞれ授与します。

1 日時 令和7年3月19日（水）午後4時から4時20分まで

2 場所 県議会棟特別会議室

3 受章者

【スポーツ顕彰】

大会	選手氏名	競技名	成績
第15回世界女子相撲選手権大会	かくだ なな 角田 奈那	相撲	女子団体2位
第20回冬季デフリンピック競技大会	やまさき ゆうこ 山崎 優子	フットサル	女子団体戦5位
2024年パリパラリンピック	もり たくや 森 卓也	ローイング	男子シングルスカル8位
	たかはし しゅんや 高橋 峻也	陸上競技	男子やり投6位
第14回世界デフゴルフ選手権大会	まえじま ひろゆき 前島 博之	ゴルフ	一般男子団体戦3位



角田 奈那



山崎 優子



森 卓也



高橋 峻也



前島 博之

【スポーツ功労章】

大会	氏名	競技名	成績
2024年パリオリンピック	やすい ひろしし 安井 博志 [監督]	スポーツクライミング	メダル獲得（銀1）
	やすだ ちまき 安田 千万樹 [コーチ]	水泳・飛込	メダル獲得（銀1）
	にしがき ひとし 西垣 仁志 [コーチ]	フェンシング	メダル獲得（金2、銀1、銅2）



安井 博志



安田 千万樹



西垣 仁志

みんなで地方創生事業の執行状況について

令和 7 年 3 月 1 9 日
東 部 地 域 振 興 事 務 所
中 部 総 合 事 務 所

地方創生の実現に向けて、民間団体等が取り組む地方創生に資する取組を支援し、官民一体となった取組を推進するため、地域の事情や特性に配慮しながら、時機を失することなく効果的に事業が実施できるよう、東部地域振興事務所及び中部総合事務所において実施した「みんなで地方創生事業」の執行状況を報告します。

1 東部地域振興事務所

(単位：円)

事業名	事業内容	事業主体	執行額	成果等
体育館に泊まろう！避難所テント宿泊体験事業	避難所での暮らしの体験、災害時の住民行動及び地域での対応のシミュレーションを実施し、住民の防災意識の向上、地区内交流、関係人口の創出を図る地元主体の活動を支援した。 <支援した取組内容> ・開催日：令和6年9月21日(土)～22日(日) 令和6年9月28日(土)～29日(日) ・場 所：旧山形小学校体育館 ・内 容：避難所運営等の解説、除菌水づくり・自家発電体験、テント設営・薪割り薪入れ体験、炊出し体験 等 ・参加者：宿泊35名(山形地区住民23名、疎開保険加入者12名)	山形地区振興協議会	647,434	・避難所での暮らしを実際体験することで、各家庭での防災準備の見直し、振り返りなどの行動に繋がり、防災意識の向上を図ることができた。 ・また、この度の事業について、町内の他地区へ情報共有を行ったことにより、他地区における防災活動への広がり期待される。
若桜でとことん鉄道ばなし	若桜鉄道の啓発・交流イベントの開催により、交流人口の拡大、地元団体への活動参画、世代交代による団体の活動の活性化を促し、若桜鉄道の存続、発展を目指す地元主体の取組を支援した。 <支援した取組内容> ・開催日：令和6年11月2日(土) ・場 所：若桜町公民館 ・内 容：桂梅團治 鉄道落語会 トークショー「I LOVE “WAKATETSU”」 貸切列車企画は悪天候のため中止 ・参加者：若桜鉄道沿線住民、沿線団体関係者、鉄道愛好者、文化財関係者等25名	若桜駅を元気にする会	666,000	・若桜鉄道や沿線地域の観光化や文化財活用について考えを共有し、沿線団体同士の横の連携を図ることができた。 ・町内の新しい活性化団体「まちづくり有志の会」や他団体との連携を得ることにより、世代交代を図りながら活動を継続していく道筋を見出すことができた。
J R 岩 美 駅 クリスマスイルミネーション&キャンドルナイト	J R 岩美駅前の賑わい創出の拡大事業として岩美駅及び駅周辺が地域住民や観光客でにぎわう「集いの場」になることを目指した地元主体の活動を支援した。 <支援した取組内容> ・実施期間：令和6年12月21日(土)～令和7年2月2日(日) ・場 所：J R 岩美駅及び岩美町観光協会前 ・内 容：いわみキャンドルナイト、クリスマスイルミネーション(期間中は岩美中・高校生制作「明るい岩美町」シンボルライト設置) ・参加者：岩美町民、アニメFree!ファン観光客等約300名が期間中に参加	J R 岩美駅賑わい創出検討委員会	600,000	・J R 岩美駅周辺の賑わい創出とプレイヤー(起業者)の掘り起こし、アニメFree!×岩美町イベント(R7.5.25)のプレイベントとして、「明るい岩美町」実現に向け産官学とまちづくりグループが一体感を持って本事業に取り組んだ。 ・岩美駅及び駅前周辺の活性化、岩美町を訪れるアニメFree!ファン、観光客の集客、移住者の定着等に向けた活動の契機となった。
合計			1,913,434	

2 中部総合事務所

(単位：円)

事業名	事業内容	事業主体	執行額	成果等
美術館～赤瓦・白壁土蔵群周遊エリア歩き事業	<p>雨天や日差しが強い日など歩くには不向きな自然環境の中でも歩きたくなる、赤瓦・白壁土蔵群などの古い街並みに馴染み・映える観光ツールを整備するとともに、情報発信し、観光客の集客等による経済効果を高める。</p> <p>また、令和7年3月に開館する県立美術館の知名度・関心度を高めるとともに、同美術館と倉吉市中心市街地（赤瓦・白壁土蔵群）との周遊性を高める。</p> <p><支援した取組内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間：令和6年9月～令和7年3月 ・内 容：無料レンタル用デザイン傘の設置 県立美術館半年前イベントでのステージディスプレイ 広報用チラシ作成 和傘で歩くくらしフォトコンテスト SNSでの投稿を促す「#傘で倉吉まち歩き」キャンペーン 	(一社) 倉吉観光MICE協会	1,000,000 (見込)	<ul style="list-style-type: none"> ・エリア内15か所にカラフルな無料レンタル傘約300本を設置（県立美術館、白壁土蔵群観光案内所、打吹回廊など）。 ・降雨時でもインバウンド客など観光客の観光施設間の回遊促進につながっている。 ・県立美術館開館半年前イベント（R6.9.28）及びねんりんピック関連行事（R6.10.20）での傘をとり入れたディスプレイ設置により、美術館及び「傘の似合う町・倉吉」をPRすることができた。
ねんりんピックはばたけ鳥取2024に係る中部賑わいづくり事業	<p>「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」の大会盛り上げ・参加選手のおもてなしとして、県立美術館を活用したイベントを行い、令和7年3月の開館後の再訪を促す。また、同日開催の福高祭と連動した内容とすることで、中部地震からの復興に頑張る様子を知っていただくとともに、地域住民との交流の機会とし、中心市街地周辺の賑わいを創出する。</p> <p><主な事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和6年10月20日（日） ・場 所：県立美術館 ・イベント内容 移動プラネタリウム、煎茶ふるまい、書道パフォーマンス、中部地震パネル展示、映像放映等 ・シールラリー（福高祭との連動企画） 県立美術館、エースパック未来中心、倉吉博物館、福高祭会場（打吹回廊） 	鳥取県	708,000	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を含め約700人が県立美術館に来館し、各種コーナーを楽しんでいただくとともに、R7.3.30の開館をPRすることができた。 ・館内イベントの協力団体等からも、開館前の美術館での開催に「有意義だった」「来場者が多くやりがいがあった」との感想をいただいた。 ・シールラリーの各チェックポイントでは行列ができ、用意した景品560個が早々になくなるなど会場周辺でも活発な動きがみられた。
計			1,708,000	